

留学情報誌

Global グローバルネットワーク Network

IEC

International Exchange Center

名市大生の海外留学を応援します!



国際交流センターからのメッセージ

名古屋市立大学は、国際交流センターを中心として、国際競争力を高めるために留学生の受入や本学学生の派遣、海外の研究者との共同研究支援など国際化を推進しています。

まず、本学で学ぶ学生向けに、海外留学について考えるきっかけづくりや、国際交流に参加する機会の提供を行っています。協定校を中心とした海外の大学への派遣留学プログラム・研修に加え、国際機関などへのインターンシッププログラム、文部科学省官民協働留学支援制度「トビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラム」への参加に関するサポートを行っています。

また、本学で学ぶ外国人留学生に対しては、日本での留学生活がより充実したものになるように、留学生宿舎の運営、企業寮の紹介、奨学金手続き、地域との交流、日本語学習のサポート等を行っています。日本人学生と留学生の交流促進のため、留学生懇親会、昼休みに留学生の現地の言葉で楽しく懇談するTALK TIMEなどを開催しています。また、名古屋市内の小・中学校、高校の訪問、絵本読み聞かせなどを通して地域との交流の懸け橋にもなっています。

新型コロナウイルス感染拡大により、2020年春から中断を余儀なくされていた渡航を伴う交換留学ですが、2022年より再開し参加者数もそれ以前の水準を回復しています。コロナ禍においても、本学における外国人留学生数は拡大を続け、新たな海外協定校の設置も進みました。

国際交流センターでは今後もさらにすべての学生・教職員に国際交流の輪が広がるようにサポートします。

目次

国際交流センターからのメッセージ／目次	2
名古屋市立大学 国際交流センターの紹介	3
留学に向けての準備	4
2024年度 留学説明会等スケジュール(予定)	5
名古屋市立大学 協定校留学・インターンシッププログラム	6,7
名古屋市立大学 国際交流協定校一覧	8
留学・インターンシップ体験談	9,10,11
留学費用について	12
トビタテ! 留学JAPAN・学内の留学サポート	13,14
外国語の各種資格検定	15
留学生へのサポート・留学生の地域や学生との交流	16,17
2023年度 国際交流センター活動報告	18
名古屋市立大学 国際学会発表支援事業	19

名古屋市立大学 国際交流センターの紹介

滝子キャンパス3号館1階にある国際交流センターは海外の大学や研究機関との交流を推進するため、教員の海外派遣や外国人研究者の受け入れを行うほか、海外の大学との学术交流協定の締結を促進しています。また様々な期間・内容の留学プログラムを実施し、学生の海外派遣も積極的に行っています。

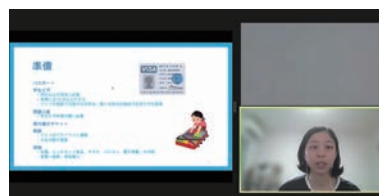
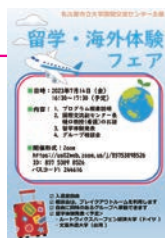
国際交流情報の発信

留学・奨学金情報や国際交流イベントの情報を内外の掲示板及び大学ウェブサイト(トップ>国際交流・留学)に掲出しています。また、国際交流を推進するために結成された本センター公式学生団体「NCU GO!」・「よいしょ」のイベントも発信しています。



留学相談

スタッフが協定校留学をはじめとする学生の海外留学の相談に応じています。国際交流センター主催で、毎年1回、留学フェアを開催しています。また、交換留学説明会や短期語学研修説明会を開催しています。



語学教材貸出・資料閲覧

英語教材のほか、中国語・フランス語・ドイツ語など第二外国語の教材も幅広く揃えており、貸し出しをしています。その他、週1回発行の英字新聞 The Japan Times Alphaも閲覧できます。



外国語 Talk Time

昼休みに交換留学生による「Talk Time」を実施しています。センターでは中国語、ドイツ語、韓国語トークタイムを実施しています。



留学生交流

留学生と日本人学生が交流する機会として、留学生懇親会や留学生ウェルカムパーティ、日本文化体験等のイベントを行っています。



留学に向けての準備

留学について興味があれば、1年生の時から説明会へ参加したり、国際交流センターへ情報収集や相談に来てください。語学学習も早めに始めて留学に備えましょう。留学をしたい・留学後にこうなりたいという夢があるのであれば、実行に移しましょう。

留学のステップ図

〈留学前〉



〈留学後〉



留学時の単位について

留学前に各所属の国際交流担当の教員や指導教員、各学部事務室の教務担当窓口でよく相談するようにしてください。

在学留学

大学間・学部間協定に基づく留学で修得した授業科目の単位は、所定の基準による審査のうえ、本学の授業科目の単位として認定が可能です。ただし、認定基準は学部・研究科によって異なります。また、どのような授業科目を履修してもすべて認定されるということではありません。

休学留学

一部のプログラムでは例外的に留学期間中の休学が認められる場合があります。学期の全期間をとおして休学が認められた場合は、その学期にかかる本学授業料を納付する必要はありませんが、留学先で修得した単位は認定されません。

私費留学

留学期間中の在学状態(在学/休学)に関わらず、留学先で修得した単位は認定されません。

留学のタイプ

交換留学

本学と協定締結校の双方が相互に学生を交換し合う制度です。留学先大学での学費が免除される上、各学部・研究科の単位認定基準に基づき、留学先大学で修得した単位が本学で修得した単位として認定されます。

派遣留学

本学から協定締結校に学生を派遣する制度です。派遣学生は、学内選考により決定します。プログラムにより、派遣期間、学費免除の有無、応募資格等が異なります。

短期研修・実習

2週間～1ヶ月程度現地で外国語を集中的に勉強する語学研修や、病院臨床実習などがあります。短期間なので事前にはっきりと準備をしておくことと満足いく結果が得られるでしょう。

インターンシップ

本学には国連機関やディズニーマーケットで働くプログラムがあります。海外での就労経験を積むことで、留学とはまた違った国際感覚を身に着けることが出来ます。

2024年度 留学説明会等スケジュール (予定)

※国際交流センターでは、留学説明会の実施や告知を行っています。説明会の日時や場所につきましては、国際交流センター掲示板や大学ホームページ内「国際交流・留学」ページ、学務情報システムなどでお知らせしますので、随時最新情報を確認してください。

	日程	実施内容	対象	応募締切	派遣期間	備考
前期	3月	2024年度国連食糧農業機関(FAO) インターンシップ説明会	全学部・全研究科 (大学4年生以上が望ましい)		派遣期間は3ヶ月～ 派遣時期は派遣部署による (9月以降)	
	4月上旬	2024年度クィーンズ大学BISC (国際学習センター) 派遣留学説明会	経済学部・人文社会学部 2～4年生 ※留学時には1年以上本学 に在籍していること	夏学期: 5月中旬 秋学期: 6月下旬	夏学期:6月～7月 秋学期:9月～12月	
	4月中旬	2024年度夏季短期研修説明会・ 募集開始(全学募集のプログラム)	全学部	4月中旬 ～6月中旬 プログラムに より異なる	2024年8月上旬～8月下旬 (3週間程度)	
	4月中旬	2024年度ニューサウスウェールズ 大学(UNSW) 交換留学説明会	経済学部・人文社会学部 2年生以上 及び経済学研究科 ・人間文化研究科	6月下旬	2025年2月中旬～11月(9ヶ月)	
	4月中旬 ～5月中旬	2024年度バレンシア(ディズニー) 国際カレッジプログラム	経済学部・人文社会学部 経済学研究科 ・人間文化研究科	説明会時に 掲示	2025年2月～8月(約6ヶ月)	全国で選考
	6月上旬	2024年度バックネル大学 日本語ティーチング・アシスタント (TA) 奨学生制度説明会	人文社会学部 国際文化学科	10月下旬	2024年8月中旬 ～2025年5月中旬(9ヶ月)	
	7月上旬	名市大生のための留学フェア	全学部・全研究科			場所:談話室(予定)
	8月中旬	2024年度交換留学募集開始	全学部・全研究科	9月中旬 ～10月上旬	2025年2月または3月 (半年もしくは1年間)	掲示・WEB・学務情報等 による案内
後期	10月	2025年度ニューサウスウェールズ 大学(UNSW) 選択制臨床実習募集	医学部4年生 (派遣時は5～6年生)	選考時期: 1～2月	2025年11月下旬 ～2026年9月下旬(4週間) 予定	選考方法:書類審査、面接 ※詳細が決まりましたら、 掲示でお知らせします。
	10月上旬 ～中旬	2025年度バレンシア(ディズニー) 国際カレッジプログラム	経済学部・人文社会学部 経済学研究科 ・人間文化研究科	説明会時に 掲示	2025年8月～2026年1月(6ヶ月)	全国で選考
	2月中旬	2025年度交換留学プログラム 説明会・募集開始 (全学募集のプログラム)	全学部・全研究科	3月下旬 ～4月中旬 (留学プログラム による)	秋派遣:2025年8月または9月出発 春派遣:2026年2月または3月出発 (半年もしくは1年間)	掲示・WEB・学務情報等 による案内
	2月中旬	2024年度南カリフォルニア大学 (USC) 臨床薬学研修説明会	薬学部5年生以上 及び薬学研究科	研修説明会時 に提示	7月下旬～8月上旬(2週間)	

名古屋市立大学 協定校留学・インターンシッププログラム

全学募集のプログラム

詳しくはP13を
チェック!

	プログラム名	国名・地域名	派遣期間	派遣人数	応募要件等	備考	奨学金
交換留学	ハルリム大学	韓国	・半年 ・1年間	2名	現地の学生と共に受講するのに十分な韓国語能力、または英語能力を有すること	※	○
	南ソウル大学	韓国	・半年 ・1年間	3名	現地の学生と共に受講するのに十分な韓国語能力を有すること	※	○
	忠南大学	韓国	・半年 ・1年間	4名	現地の学生と共に受講するのに十分な韓国語能力、または英語能力を有すること	※	○
	チュンアン大学	韓国	・半年 ・1年間	2名	現地の学生と共に受講するのに十分な韓国語能力、または英語能力を有すること	※	○
	中央民族大学	中国	・半年 ・1年間	3名	一定以上の中国語能力を有すること	※	○
	文藻外語大学	台湾	・半年 ・1年間	3名	一定以上の中国語能力、または英語能力を有すること	※	○
	台北市立大学	台湾	・半年 ・1年間	3名	現地で生活するのに十分な英語能力を有すること	※	○
	マレーシア科学大学	マレーシア	・半年 ・1年間	3名	現地で生活するのに十分な英語能力を有すること	※	○
	ジャウメI世大	スペイン	・半年 ・1年間	4名	現地で生活するのに十分な英語能力を有すること	※	○
	ランス・シャンパーニュアルデンヌ大学	フランス	・半年 ・1年間	若干名	十分な仏語力を有すること (CEFR B2以上)	※	○
	ルートヴィクスハーフェン経済大学	ドイツ	・半年 ・1年間	3名	現地で生活するのに十分な英語能力を有すること	※	○
	ライプツィヒ応用科学大学	ドイツ	・半年 ・1年間	4名	現地の学生と共に受講するのに十分なドイツ語能力、または英語能力を有すること	※	○
	貿易大学	ベトナム	・半年 ・1年間	3名	現地の学生と共に受講するのに十分なベトナム語能力、または英語能力を有すること	※	○
プリンスオブソングラー大学	タイ	・半年 ・1年間	4名	現地の学生と共に受講するのに十分なタイ語能力、または英語能力を有すること	※	○	
短期研修・実習	ルートヴィクスハーフェン経済大学サマースクール研修	ドイツ	3週間(8月)	10名程度 ただし先方の選考あり	学部生に限る ある程度の英語能力を有する学生	※	○
	中国短期語学研修	台湾	2週間 (9月または3月上旬～中旬)	5名～10名程度	原則として、中国語を履修していること、または、履修した経験があること	※	×
	台北護理健康大学サマープログラム	台湾	2週間	若干名	ある程度の英語能力を有する学生	単位認定なし	○
	韓国語短期研修	韓国	2週間	10名程度	原則として、韓国語を履修していること	※	×
	カルガリー大学付属語学学校短期研修	カナダ	4週間	最大15名程度	ある程度の英語能力を有する学生	※	○
	ミシガン州立大学短期研修	アメリカ	4週間(2月)	最大15名程度	ある程度の英語能力を有する学生	※	○
	ジャウメI世大学短期研修	スペイン	4週間	～30名	ある程度の英語能力を有する学生	※	○
インターンシップ	国連食糧農業機関 (FAO) インターンシップ	全世界のFAOオフィス	3ヶ月～	若干名	国際機関での業務遂行に十分な英語コミュニケーション・調整能力を有する者。 TOEIC850点以上相当を有する者。	学部4年生以上が望ましい。 単位認定なし	○

※単位認定は所属する学部・研究科の定める手続きに従う

各学部・各研究科募集のプログラム

	派遣対象学部・学科	国名・地域名	プログラム名	派遣期間	派遣人数	応募要件等	備考	奨学金
交換留学	経済学部・人文社会学部 (2年生以上) 経済学研究科 人間文化研究科	オーストラリア	ニューサウス ウェールズ大学 (UNSW) 交換留学	9ヶ月間 (2月下旬～11月)	2名	TOEFL iBT90、または IELTS6.5を有する者。	原則として 単位認定有	○
	芸術工学部(3年生以上) 芸術工学研究科	イタリア	トリノ工科大学 交換留学	・半年 ・1年間 (現地大学の春学期 もしくは秋学期)	5名程度	TOEFL iBT72、またはIELTS5.5を 有する者が望ましい。	原則として 単位認定有	○
	経済学部・ 経済学研究科	ドイツ	ハノーファー大学 交換留学	・半年 ・1年間 (現地大学の春学期 もしくは秋学期)	2名	TOEFL iBT72、または IELTS5.5を有する者。	原則として 単位認定有	○
派遣留学	経済学部・人文社会学部 (2～4年生)	イギリス	クイーンズ BISC (国際学習センター) 派遣留学	夏学期: 6月中旬～7月中旬 秋学期: 9月上旬～12月中旬	10名程度	TOEFL iBT80、IELTS6.5、 TOEIC700点を有する者	原則として 単位認定有	×
	人文社会学部 国際文化学科 2年生以上	アメリカ	バックネル大学日本語 ティーチング・アシスタント (TA)奨学生制度	9ヶ月間 (8月上旬・下旬 ～翌年5月中旬)	1～2名	TOEFL iBT100以上が望ましい	単位認定なし	×
短期研修・実習	医学部3年生 (派遣時)	海外 協定校	海外協定校での 基礎自主研修	約3か月間	若干名	書類審査、面接にて選考	医学部3年生の 基礎自主実習と 同等のものと 認める	○
	医学部5～6年生 (派遣時)	海外 協定校	海外協定校での 選択制臨床実習	2～5週間	若干名	書類審査、面接にて選考	医学部6年生の 臨床実習・ 学外病院(選択制) の選択4週間と 同等のものと 認める。	○
	薬学部5年生以上・ 薬学研究科	アメリカ	南カリフォルニア大学 (USC)臨床薬学研修	2週間 (7月下旬 ～8月上旬)	5～10名	応募者多数の場合は、 TOEIC等の成績により選考します。	原則として 単位認定有	○
	看護学部2～4年生	韓国	ハルリム大学短期 看護研修	1週間(9月前半)	4～5名	海外での看護、教育、 医療事情を学ぶ意欲があること	隔年で実施	○
	看護学部2～4年生	東ティモール	パーツ大学 短期地域保健実習	1週間(3月後半)	2～3名	海外での保健事情、 社会事情を学ぶ意欲があること	隔年で実施	○
インターン	経済学部・人文社会学部 経済学研究科・ 人間文化研究科	アメリカ	バレンシア(ディズニー) 国際カレッジプログラム	約6ヶ月間 (8月～翌年1月) (2月～8月)	選考に よる	・プログラム開始時において 第1学年の課程を終えていること ・TOEIC600点以上またはその他の テストで相応のテストスコア を有する者	全国で選考 単位認定は所属 する学部・研究科 の定める手続き に従う	×

名古屋市立大学 国際交流協定校一覧

大学間交流協定 57大学

学部間交流協定 20大学

2024年1月末現在

大学間・学部間交流協定		
オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	The University of New South Wales
	ボンド大学	Bond University [医学研究科・医学部]
アメリカ	南カリフォルニア大学	The University of Southern California
	ウィチタ州立大学	Wichita State University
	メリーランド芸術大学	Maryland Institute College of Art (MICA) [芸術工学部]
	ミシガン大学	University of Michigan [薬学部]
カナダ	ミシガン州立大学	Michigan State University
	ウェスタン大学	University of Western Ontario
イタリア	カルガリー大学	University of Calgary
	トリノ工科大学	Politecnico di Torino
フランス	パドヴァ大学	Università degli Studi di Padova
	ヴェローナ大学	University of Verona
	パリ第13大学	Université Paris Nord 13
ドイツ	サンティエヌヌ大学 アート・デザイン学校	Saint-Étienne Higher School of Art and Design (ESADSE)
	モンペリエ・ポール・ヴァレリー大学	Université Paul-Valéry Montpellier 3
	ランス・シャンパーニュ・アルデンヌ大学	Université de Reims Champagne-Ardenne
ハンガリー	ライプツィヒ応用科学大学	Hochschule für Technik, Wirtschaft und Kultur Leipzig
	ルートヴィクスハーフェン経済大学	Ludwigshafen University of Applied Sciences
	ハノーファー大学	Leibniz University Hannover [経済学部]
スペイン	ハレ・ヴィッテンベルク・マルティン・ルター大学	Martin-Luther-University-Halle Wittenberg [人文社会学部]
	ペーチ大学	University of Pécs
	マドリッド工科大学	Universidad Politécnica de Madrid
イギリス	バレンシア大学	Universidad de Valencia
	ジャウメI世大学	Universitat Jaume I
	ラリオハ デザイン学校	Escuela Superior de Diseño de La Rioja [芸術工学部]
スイス	ノッティンガム大学	University of Nottingham [芸術工学部]
ルーマニア	西スイス応用科学技術大学	University of Applied Sciences and Arts Western Switzerland [芸術工学部]
ベルギー	ブカレスト工科大学	University Politehnica of Bucharest
ポーランド	ルカスクールオブアーツ	LUCA School of Arts [芸術工学部]
	ヴロツワフ美術大学	The Eugeniusz Geppert Academy of Art and Design in Wrocław [芸術工学部]
中国	南京医科大学	Nanjing Medical University
	瀋陽医学院	Shenyang Medical College
	中央民族大学	Minzu University of China
	瀋陽薬科大学	Shenyang Pharmaceutical University
	黒竜江中医薬大学	Heilongjiang University of Chinese Medicine
	常州大学	Wenzao Ursuline University of Languages
	天津中医薬大学	Tianjin University of Traditional Chinese
	中国社会科学院日本研究所	Institute of Japanese Studies, Chinese Academy of Social Sciences [経済学部]
	中国薬科大学	China Pharmaceutical University
	中国東北林業大学	Northeast Forestry University
	南京曉庄学院	Nanjing Xiaozhuang University
	曲阜師範大学	Qufu Normal University
	文藻外語大学	Wenzao Ursuline University of Languages
	台湾	台北医学大学
国立成功大学		National Cheng Kung University [医学部]
国立台北護理健康大学		National Taipei University of Nursing and Health Sciences
香港	台北市立大学	University of Taipei
	香港浸会大学	Hong Kong Baptist University [薬学部]
韓国	香港大学	The University of Hong Kong [薬学部]
	ハルリム大学	Hallym University
	南ソウル大学	Namseoul University
	忠南大学	Chungnam National University
	檀国大学	Dankook University [芸術工学部]
フィリピン	梨花女子大学薬学大学	Ewha Womans University [薬学部]
	漢陽大学	Han Yang University [医学部]
	チュンアン(中央)大学	Chung-ang University
	サント・トーマス大学	University of Santo Tomas
	デ・ラサール大学	De La Salle University, The Philippines [人間文化研究科]
タイ	フィリピン大学マニラ校	University of the Philippines Manila
	ヴィサヤ州立大学	Visayas State University
	タマサート大学	Thammasat University
マレーシア	プリンスオブソングラー大学	Prince of Songkla University
	タマサート大学・チュラボン国際医学部	Thammasat University, Chulabhorn International College of Medicine [医学部]
	コンケン大学	Khon Kaen University [医学部]
ベトナム	マレーシア国民大学	Universiti Kebangsaan Malaysia
	マネージメント科学大学	Management and Science University
	マレーシア科学大学	Universiti Sains Malaysia
モンゴル	ベトナム国立大学ホーチミン校	University of Science-Vietnam National University-Ho Chi Minh City
	貿易大学	Foreign Trade University
アラブ首長国連邦	国立モンゴル医科大学	Mongolian National University of Medical Sciences
	シャルジャ大学	University of Sharjah
インドネシア	トルコ	Hacettepe University
	ハサヌディン大学	Universitas Hasanuddin
東ティモール	ブラウイジャヤ大学	Universitas Brawijaya
	パーツ大学	Universidade de Paz
ウズベキスタン	アクファ大学	Akfa University
	タシケント医学アカデミー	Tashkent Medical Academy

スタディーアブロードプログラム		
アメリカ	バックネル大学	Bucknell University
イギリス	クイーンズ大学BISC(国際学習センター)	Queen's University (The Bader International Study Centre)
インターンシッププログラム		
全世界のFAOオフィス	国連食糧農業機関(FAO)	Food and Agriculture Organization of the United Nations
アメリカ	バレンシア(ディズニー)国際カレッジプログラム	Valencia College

留学・インターンシップ体験談

交換
留学



オーストラリア

ニューサウスウェールズ大学

UNSWは世界中から来た仲間と専門的な内容を英語で学ぶという、憧れていた環境そのものでした。英語力を含むコミュニケーションの面などで苦労した点はありませんでしたが、それを乗り越える経験は、日本ではなかなかできません。最終的にはかけがえのない友人もでき、大変貴重な経験であったと思います。この大学の魅力は現地生と留学生が同じ授業を受けるため、現地生のオーストラリア社会への鋭い意見と、留学生から見た社会の見方を同時に学べる点にあると思います。特に、オーストラリアの先住民に関する授業などで、現地生が幼少期に経験した先住民問題に関するイベントを批判的にとらえ返し、より包括的な社会にしていけるために、現地生と留学生が思いをぶつけた議論は大変興味深かったです。様々な文化や背景を持つ人々との交流により、自分の立場を位置づけ直したとともに、視野が広がりました。また、世界ももっと近く感じるようになりました。



人文社会学部・国際文化学科

西尾 メイ

派遣期間：2023年2月～12月（10ヶ月間）



交換
留学



ドイツ

ルートヴィクスハーフェン経済大学

私が留学を決めた理由は、若いうちに色々な価値観の人と交流することで、柔軟な考え方を身につけたいと思ったからです。世界中から集まった交換留学生たちは、同じ大学生なのに共通点を見つける方が難しいくらい、個性に溢れていました。その中で、自分にとっての当たり前が大きく変わりました。ですが、意外にも留学は自分を見つめ直す良い機会でもあったと思います。他者と比較することで、自分の中で揺らがない、大切にしたい価値観を見つけることができました。

ルートヴィクスハーフェン経済大学での日々には、日本では経験できないことがいっぱい散らばっています！英語とドイツ語を毎日使うこと、憧れのヨーロッパの国々がすぐそばにあること、EUの繋がりを体感すること、海外で働く可能性。そんな中でもこの留学の一番の財産だと思うのは、世界中にできた友達です。旅行もパーティも楽しかったけれど、今一番恋しく思うのは友達とのたわいない会話や学生寮での賑やかな毎日です。

ぜひみなさんも、国境を飛び越えて素敵な縁を探しに行ってください！

人文社会学部・国際文化学科

轡田 ゆうか

派遣期間：2022年9月～2023年7月（10ヶ月間）

交換
留学



韓国

チュンアン大学

韓国の映像の歴史を学んだり、音声の編集を学びました。韓国の歴代の映画を観て、韓国の映像産業がどうやって進化を遂げたのか分析したり、現役で活躍されている教授から編集を教わったりと、とても刺激的な毎日を過ごしました。中には留学生1人で受ける授業もあり、テストも韓国語と大変ではありましたが、辛いと思った事はありませんでした。また韓国の学生達が、どんな作品を作って、どんな感性を持っているのかも気になり、時間があると各大学の卒展を見に周りまわりました。丁度留学生が購入できる学科ジャンパーがない事にも気が付き、ないなら私が作ってしまおうと思い立ちました。自分でアレンジしたジャンパーを韓国の業者に掛け合せて製品化し、留学生に購入希望者を募って、留学生用ジャンパーを限定販売しました。韓国の業者、大学、留学生と連絡を取り、発注、お金の管理など全て1人でしなければならぬ重圧感もありましたが、ジャンパーが世界各国、国境を超えて留学生それぞれの人生の宝物として存在し続けて行く事に思いを馳せながら、この企画を1人でやり通しました。



芸術工学部・情報環境デザイン学科

田村 彩夏

派遣期間：2022年2月～12月（10ヶ月間）

交換
留学



台湾

文藻外語大学

「留学をする道を選んでよかった」この先も何度もそう思える充実した、且つ自身の成長を感じられた時間となりました。

私は中国語修得、異文化交流とそれを通して自分の視野を広げるために留学を決めました。台湾での学校生活では、毎日2時間の中国語の授業のほか、英語や日本語の授業を受講しました。最初は現地の人の話を理解するのも大変で、授業についていくことに必死でした。中国語のスピーチコンテストに参加したり、台湾人と話したりと積極的に行動し、少しずつ理解を深めました。また英語の授業では、現地の大学生だけでなく他の交換留学生と共に台湾文化を学び、様々な観点から文化の比較を行うことが出来、日本では体験できない貴重な経験となりました。

様々なバックグラウンドを持つ学生との交流や、新しい環境での生活は毎日が新鮮で刺激的でした。この留學生活ではたくさんの人の無償の愛に支えられた毎日でした。

台湾の友人や海外の友人と言語の壁を越え共に笑い合い、励まし合いながら過ごした時間は今後も絶対に忘れられません。



人文社会学部・国際文化学科

沖恵 未依奈

派遣期間：2023年2月～2024年1月(11ヶ月間)



交換
留学



ベトナム

貿易大学

英語「で」学びたい、そして異文化の中に長期間身を置く経験をしたかったと思い、ベトナムへの留学を決意しました。貿易大学ではほとんどの授業が英語で開講されているため、現地の学生たちと一緒に授業を受けます。私は自身の専門外である貿易や国際経済の授業を履修していたため、初めは授業についていくことに必死でしたが、同時に新たな知識を得られることが楽しかったです。また、貿易大の学生は英語のレベルが非常に高く、授業の中で彼らから多くの刺激を受けました。

さらに留学中、周辺の国々やベトナムをたくさん旅行しました。ラオスに30時間かけて陸路移動するなど、東南アジアならではの貴重な体験の数々は、今でも強く記憶に残っています。

他にも他国からの留学生との交流、日本語教師のアルバイトなど、ベトナムでの留學生活は非常に多くの経験にあふれていました。この留学を通して多様な文化・人々に触れ、自身の視野が広がったことを実感しています。

人と違う経験をしてみたい、という方におすすめの留学先です。

人文社会学部・国際文化学科

丹村 明香里

派遣期間：2023年4月～2024年1月(9ヶ月間)

短期
研修



アメリカ

ミシガン州立大学

様々な国にルーツを持つ友達を作ること、英語を話す能力を伸ばすことを目標に、ミシガン州立大学短期留学に参加しました。英語学習を目的とした留学なので、英語4技能それぞれにフォーカスした授業に加え、語彙と文法も英語で学びました。それ以外にも、日本語を学んでいる学生と交流する時間や、日本語の授業に参加する時間がありました。

スケートをしたり、夕食を食べたり、大きなスーパーに行ったりと、現地の学生との交流の機会が豊富にあるのが、この留学の強みです。授業でもそれ以外の時間でも英語を日常的に話すことで、使える英語を身につけることができ、言いたいことを発するまでに時間がかからなくなりました。また、ポジティブな考え方や、周りの目を気にしすぎなくてもよいという価値観が身に付いたと感じています。

留学を経て、多様な文化を持つ学生と共に、海外の大学でさらに学びたいという気持ちが強まりました。自分の可能性を広げてくれた、とても良い機会になったと思います。



人文社会学部・国際文化学科

田中 りもね

派遣期間：2023年2月5日～3月5日(1ヶ月間)

短期
研修

カナダ

カルガリー大学

私はホームステイに興味があり、このプログラムに参加することを決めました。あまり英語が得意では無いため、正直ホストファミリーと上手くコミュニケーションがとれるか不安でした。実際、上手く聞き取れなかったり伝えられなかったり、そういった事はたくさんありました。はじめの週末、遊びに行くと言っていたファミリーに付いていったのですが、着いた先は教会でした。私はそこで「play」と「pray」を聞き間違えていたこと、今日は日曜だから日曜礼拝があることに気が付きました。けれども初めて行った教会は牧師に頭を撫でられたり、他の参拝者の方と少し話せたりと、とてもいい経験になりました。このように上手くコミュニケーションを取れないこともあったけれど、それも含めていい経験になったと思います。また、最後の方になるにつれ段々言葉もすんわり出てくるようになり、リスニングが上達していることも実感しました。4週間、海外の方と過ごした経験は私の中で大きなものとなりました。



経済学部・会計ファイナンス学科

高谷 南帆

期間：2023年8月7日～9月4日（4週間）

派遣
留学

アメリカ

バックネル大学 日本語ティーチングアシスタント
(TA) 奨学生制度

本プログラムでは、日本語のティーチングアシスタント(TA)として、アメリカ東部ペンシルベニア州にあるバックネル大学に派遣されます。大学の日本語の授業を1人で行う他、授業計画やオフィスアワー、宿題の採点などを行います。その他の時間には、留学生として、大学の授業を各学期一単位ずつ受講できます。リベラルアーツカレッジであるバックネル大学では、文理を問わず専攻や副専攻でき、ユニークな授業も多くありました。

TAとして働く中で、他の言語を教えるTAたちとの交流は重要なものでした。慣れない環境で母語を教えながら、TAたちと切磋琢磨したことはとても良い思い出です。また、大学内のサークル活動では、バックネル大学の学生たちと関わる機会が多くありました。大学のイベントでワシントンD.C.を訪れた他、冬には友人とスキーなどもしました。

受講した授業で学んだことをもとに卒業論文を書くなど、TAとしてだけでなく留学生としても非常に充実した学びを得ることができました。プログラムを通して経験した事、出会った人々は私にとって貴重な財産です。

人文社会学部・国際文化学科

井上 恵美里

期間：2022年8月～2023年5月（9ヶ月間）

インター
シップ

イタリア

国連食糧農業機関(FAO)

大学での研究の経験を生かして、疫学研究や公衆衛生上の問題に取り組みたいと思い、国連食糧農業機関のインターンシップに参加させていただきました。インターンシップではアフリカ地域における気候と感染症のリスク評価に関する分析をさせていただきました。普段の生活では耳にしない熱帯感染症に多くの人が苦しんでおり、地球温暖化に伴い健康リスクが増加しうることを痛感いたしました。そして、当インターンシップを通して公衆衛生学をより専門的に学びたいと思うようになり、公衆衛生大学院に進学することとなり、この経験は自分の人生を大きく変えるものになりました。また、実際にローマでの生活や文化を知れたこと、そして、現地で出会った出来事や人々は人生の宝物です。

海外での一人暮らしや言語による不安はあるかもしれませんが、それに挑戦することは皆さんにとってもかけがえのないものになると思います。少しでも興味があれば、ぜひ挑戦してみてください。



薬学部・生命薬科学科

村崎 亘

派遣期間：2022年11月～2023年3月（4ヶ月間）

留学費用について

※プログラム代などの変動などもあるため、下記金額はあくまでも参考例です。また航空運賃等も季節により異なるため、変動いたします。

例1

ルートヴィクスハーフェン経済大学 交換留学(期間:1年)

- ◆ 渡航費:15万円 ◆ 保険代:20万円(保険加入がビザ取得の条件となっているため)
- ◆ 生活費:40~60万円(生活スタイルにより異なります) ◆ 学生寮:40~50万円(学生寮やルームシェア等)

例2

ルートヴィクスハーフェン経済大学 サマースクール研修(期間:3週間)

- ◆ プログラム料金(寮費・授業料・その他参加費等):20万円 ◆ 渡航費:20万円
- ◆ 諸雑費(海外旅行保険等):5万円

例3

ミシガン州立大学短期研修(期間:4週間)

- ◆ プログラム料金(授業料・宿泊代・その他):56万円
- ◆ 渡航費(航空券・燃油サーチャージ・VISA取得費及び代行サポート料):35万円 ◆ 諸雑費(海外旅行保険等)

例4

ハルリム大学交換留学(期間:4ヶ月半)

- ◆ 渡航費:5万円 ◆ 生活費:10万円+余暇費用 ◆ 寮費:7万円(+6千円で布団リースあり)
- ◆ 保険:5万円強

例5

文藻外語大学交換留学(期間:4ヶ月半)

- ◆ 渡航費:8万円 ◆ 生活費:15万円+余暇費用
- ◆ 寮費:学生寮の場合は4万円/半年、学外の1人部屋の場合は10万円/4ヶ月半
- ◆ 保険:4万円強/5ヶ月

例6

クイーンズBISC(国際学習センター)派遣留学(期間:3カ月)

- ◆ 渡航費
- ◆ 授業料:170万円(学費に宿泊費・食費・スクールトリップ代含む)

留学に関心のある方は、ぜひ交換留学プログラム説明会や名市大生のための留学フェアにご参加ください。実際に留学した学生の話の直接聞くことができるので、とても参考になると思います。

トビタテ! 留学JAPAN 新・日本代表プログラム

このプログラムは2014年からスタートした「トビタテ! 留学JAPAN」日本代表プログラムの第2ステージとして2023年から開始された産学官協働の海外留学支援制度です。産学官が一体となってグローバル人材育成を目指すプログラムで、コロナ禍で落ち込んだ留学者数を2027年度までに少なくともコロナ前の水準に回復することを目指す計画です。

プログラムの特徴

- 支援企業: 団体からの寄附による返済不要の留学奨学金を給付
奨学金: 月額6~16万円(留学先地域により異なる) 渡航費: 15~25万円(留学先地域により異なる) 授業料: 一律30万円
- 留学期間: 28日以上1年以内(3か月以上推奨)で自由に計画可能
- 学生が自ら組み立てた、単位習得を前提としたアカデミックな留学だけでなく、インターンシップ、ボランティアなどの実践活動を含む多様な留学計画を支援。

募集について

募集回数: 年1回

募集時期: 例年12月頃~2月頃

申請書類提出期限: 学内掲示板等に記載されている学内の提出期限を必ず確認し、期限内に国際交流センターへ提出してください。

※詳細は以下の名古屋市立大学ホームページ及びトビタテ! 留学JAPANホームページをご覧ください。

名古屋市立大学トップ > 国際交流・留学 > 在学生の方へ > 奨学金(海外留学関係)

名古屋市立大学トップ > 国際交流・留学 > 在学生の方へ > 現在募集中のプログラム

トビタテ! 留学JAPANホームページ <https://tobitate.mext.go.jp/newprogram/>

日本スタディ・アブロード・ファンデーション(JSAF)パートナー校の割引

本学は、JSAFのパートナー校です。本学在籍の学生はJSAFプログラムに参加する際、JSAFパートナー校奨学金が適用されます。さらに成績(GPA)が一定基準を満たす場合には成績優秀者奨学金が追加適用となります。 ※詳細については、JSAFのHPをご覧ください。

学内の留学サポート

奨学金(渡航費)

大学間交流協定または、学部間協定に基づき、協定先大学へ派遣される学生は、名古屋市立大学後援会より奨学金を受け取ることができます。奨学金は学生が負担する渡航費にあてられます。

※この奨学金は、大学学部及び大学院研究科ごとに在学中1回のみ受けることができます。

外国語 Talk Time

外国語トークタイムでは、留学生とお昼ご飯を食べながら外国語で会話を楽しむことができます。学部や学年が違う学生とも親しくなることもでき、学内で国際交流ができる大変良い機会です。興味のある方は、ぜひご参加ください。

中国語 Talk Time



ドイツ語 Talk Time



韓国語 Talk Time



語学学習

国際交流センターでは、パソコン、スマートフォンやタブレットで学べるe-ラーニングによる語学学習の提供や語学教材の貸出・閲覧等を行っています。

e-ラーニングによる英語学習

学部生は目的とレベルに応じて、1コースを受講開始月から1年間受講できます。

年2回の募集で、前期は3月1日～3月15日(4月1日より受講開始)、後期は9月1日～9月15日(10月1日より受講開始)です。最終学年の学生が後期に申し込んだ場合は、受講期間が半年となります。

CEFR-レベル TOEIC®L&Rテスト	Pre A1 400	A1.2 500	A2.1 600	B1.2 700～		
	入門	初級	中級	上級		
総合英語トレーニング初級コース	●					
総合英語トレーニング中級コース		●				
総合英語トレーニング上級コース			●			
TOEIC®L&Rテスト 500・600・730点突破コース (スコアに応じて3コース)	● 500点対策		● 600点対策	● 730点対策		
TOEFL ITP®テスト攻略コース		●				
基礎からの英文法トレーニングコース	●					
医学・医療英語コース			●			
PowerWords Hybrid コース	● Level 01	● Level 02	● Level 03	● Level 04	● Level 05	● Level 06
英単語パワーアップコース TOEIC® テスト編	● 初級		● 中級		● 上級	
英単語パワーアップコース TOEFL®テスト編		●				
英単語パワーアップコース 理工編		●				
英単語パワーアップコース 医学・医療編		●				

株式会社アルクの資料より抜粋

ぜひ
活用を

資格取得支援制度

自主的な学習活動を促すため、資格試験(本学が定めた資格)に合格した学生に、受験料の全額を補助する制度です。

<語学関連補助対象資格> TOEIC650点以上・TOEFL iBT69点以上・実用英語技能検定準1級及び1級・IELTS(レベル6以上)

同一資格についての申請は在学期間を通じて1回限りです。

資格取得支援制度 大学HPリンク 名古屋市立大学トップ>キャリア・就職>免許・資格取得>資格取得支援制度

英語自主学习センター(SALC)

サルク:Self-Access Learning Center

SALCは学生一人ひとりが自主的に英語を学ぶためのスペースとして開設されています。

開催場所: 滝子キャンパス2号館 309教室

詳細は以下のSALC関係ページを参考にしてください。

SALC関係ページ URL: <https://ade.nagoya-cu.ac.jp/lc/salc.html>

オンラインで語学講師と相談できる「IOC」も開設されています。

予約方法など詳細は以下のURLの「WELCOME TO INDIVIDUAL ONLINE CONSULTATIONS (IOC)」を参考にしてください。

IOC関係ページ URL: <https://ade.nagoya-cu.ac.jp/lc/ioc.html>

外国語の各種資格検定

留学にあたっては、語学要件が課されるなど一定の語学力が必要になるケースがほとんどです。例えば交換留学の場合、英語圏については出願時にほとんどの大学でTOEFLやIELTSのスコアが必要になります。また、初修外国語圏であれば、その国の言語をできるだけ学習しておくことが重要になります。計画的な外国語学習に努めましょう。

TOEIC

英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。ListeningとReadingの2つのセクションで構成されており、10点から990点までのスコアで評価されます。企業における活用（新入社員の英語能力測定や昇進・昇格の要件）や学校における活用（授業の効果測定やプレイスメント）等において幅広く使用されています。試験は年間10回実施されます。

TOEFL iBT

大学レベルの英語を使用および理解する能力を測定します。さらに、Listening、Reading、Speaking、Writingの各スキルを組み合わせ、学術的な課題を遂行する能力も評価します。英語能力の習熟度を判断する目的で、Higher Education機関に留学予定の学生や奨学金や証書授与の候補者などを対象にしています。試験は年間50回以上実施されます。ニューサウスウェールズ大学交換留学を検討中の学生は、応募時に得点を提示する必要があります。

IELTS

海外留学や研修のために英語力を証明する必要がある方やイギリス、オーストラリア、カナダなどへの海外移住申請に最適なテストです。Listening、Reading、Writing、Speakingの4つの分野がスコアで示されます。試験は月2〜3回程度実施されます。

英検

世界各国の教育機関で海外留学時語学力証明資格に認定されています。試験問題は、Listening、Reading、Writing、Speakingのバランスを重視し英検は学習レベルに応じて7つの級を設定しています。筆記、リスニング、スピーキングのテストがあります。試験は合格で判定されます。試験は年3回実施されます。

漢語水平考試 (HSK)

中国政府が公認する中国語検定で、世界共通基準の資格です。就職・昇進、留学、自己学習など様々なシーンで活用できます。初級レベルの1級から上級レベルの6級まで、細かく6段階に級分けされています。各試験の結果は、聞き取り・読解・記述のそれぞれの分野別にスコア点数で表記され、詳細な中国語能力を把握できます。試験は年6回程度実施されます。中央民族大学交換留学を希望する学生は、受験することが望ましいです。

韓国語能力試験 (TOPIK)

韓国語能力試験は、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語(ハングル)試験です。2006年度から試験問題が、従来の1〜6級の6種類より初級・中級・上級の3種類へと絞り込まれ、成績に応じて振り分けられるシステムに変わりました。試験は年2回(春と秋)に実施されます。ハルリム大学・南ソウル大学交換留学を希望する学生は、受験することが望ましいです。

ドイツ語技能検定試験

ドイツ語学習者の実力をはかる日本で唯一のドイツ語の検定試験です。1級から5級まであり、準1級と1級は2次試験があり、発音とイントネーション・文章構成能力・描写能力・コミュニケーション能力などが審査対象となります。試験は年2回(夏と冬)に実施されます。ルートヴィクスハーフェン経済大学交換留学を希望する学生は、受験することが望ましいです。

フランス語学試験 (DELF・DALF)

DELF・DALFはフランス語能力を測る試験で、フランス国民教育省が認定した唯一の公式フランス語資格です。レベルはDELFがA1 A2 B1 B2の4レベル、DALFがC1 C2の2レベルに分かれています。試験は年2回(春と秋)に実施されます。

留学生へのサポート

チューター(外国人留学生特別指導員)制度

チューターとは、本学の留学生を勉強面や生活面でサポートする学生のことで、通常留学生は本学在学中、1人のチューターとペアを組むことになります。授業内容の指導・助言、学外では日常生活での諸手続きのサポート(例:区役所での手続き、携帯電話契約時のアドバイス、公共図書館の利用手続きなど)をわかりやすく説明することもチューターの仕事になります。来日する留学生の入学日や人数に応じてですが、12月(前期チューター)と6月(後期チューター)に国際交流センターが募集を行っています。



課外日本語講座

国際交流センターでは、留学生向けの課外日本語講座を開講しています。開催時期は、前期の4月～5月の計8日間、後期の集中講座として9月に4日間、後期の11月に計8日間となっています。研究生を含む外国人留学生ならどなたでも受講でき、受講料は無料です。募集については、大学の掲示板やホームページ「国際交流・留学」または学務情報システム等を確認してください。申し込みは国際交流センターで受け付けをしています。

名古屋市立大学 留学生宿舎アドバイザー

留学生宿舎は、留学生のほかに、日本人アドバイザーも入居できます。アドバイザーの主な役割は、日常生活における相談(交通手段の案内、諸契約手続き)、管理人不在の入居者への関係書類の配布などです。留学生と交流に関心を持つ人やアドバイザーとしての役割を果たせる人は是非留学生と一緒に生活してみましょう♪
募集は随時行っていますので、入居希望の方は、大学HP内「留学生向け宿舎」のページをご覧ください。本センターや学内の掲示板をご確認いただき、学生課国際交流係までお尋ねください。



留学生の地域や学生との交流

多文化共生



鶴舞中央図書館にて「せかいのことばでおはなし会」



小学校訪問「留学生との交流」

●鶴舞中央図書館にて「せかいのことばでおはなし会」

鶴舞中央図書館主催、名古屋市立大学国際交流センター協力によるイベントで、2014年から毎年開催されています。名古屋市立大学の留学生がそれぞれの出身国の言葉で日本の子どもたちに読み聞かせを行い、交流を深めます。(写真左)

●小・中学校、高校訪問「留学生との交流」

本学留学生が小・中学校、高校をそれぞれ訪問して、各学校の生徒と交流します。留学生が母国の食、文化、暮らしなどについて紹介し、生徒たちからは日本文化の紹介やレクリエーションの時間が設けられ、お互いに大いに交流をします。(写真右)

NCU GO !



NCU GO! は滝子キャンパスを拠点に活動する、国際交流サークルです。留学生と日本人学生の交流のためのイベントを、年に数回ほど企画しています。ウェルカムパーティーや、季節に合わせたパーティー、大学を飛び出してお出かけする企画など、楽しいイベントが盛りだくさんです！ イベント情報は学務情報システムや学内掲示板、X(旧Twitter)、Instagram (@ncu_go) で随時お知らせしています。是非ご確認ください！

<活動の様子>

Welcome Party



トークタイムや楽しいゲーム、ビンゴ大会などを通じて留学生と交流を深めました。多くの留学生や日本人学生にもご参加いただき、パーティーを盛り上げることができました。

愛知牧場へ行こう！



2023年度は留学生会さんとのコラボ企画で愛知牧場にお出かけしました。バターづくり体験や動物とのふれあい、お花畑などを楽しみながら交流を深めることができました。

水族館へ行こう



2022年度には名古屋港水族館に校外観光に行きました。こちらも留学生会さんと協力し実現したものです。少人数のグループに分かれ、各グループ交流を深めながら水族館を楽しみました。

日本語教室サークル「よいしょ」



「よいしょ」は留学生が日本語を学ぶことをサポートするサークルです。日本人の学生が、日本語の宿題や復習を一緒に行ったり、授業のレポートの添削をしたりしています。また、私達と話すだけでも日本語の練習になると思うので気軽に遊びに来てください。活動日程はX(旧Twitter)やInstagramで発信しています。また、現在、サークルを運営するメンバーも募集しています。興味がある日本人学生は連絡をください！ 皆さんと楽しく日本語を勉強できることを楽しみにしています！ SNS X(旧Twitter)→Yoisho_ncu Instagram→yoisho_ncu

<活動の様子>



最近では授業の空きコマに活動を行っています。「友達を作りたい」や「日本人学生と交流したい」という理由で「よいしょ」の活動に参加する留学生が多いので、色々なトピックで自由に会話することが多いです。また、授業のレポートの日本語の添削を「よいしょ」に頼む留学生もいます。その際に、日本人学生も日本語の特徴や母語について説明する難しさなどを感じており、留学生にとっても日本人学生にとっても学びの場となっています。

2023年度 国際交流センター活動報告

留学生交流会 —Friendly Party 2023—



2023年6月、山の畑キャンパス生協食堂にて、留学生後援会、留学生会、国際交流センター公式団体「NCU GO!」、「よいしょ」の共催により「留学生交流会 —Friendly Party 2023—」を開催しました。本学に在籍する外国人留学生・日本人学生・教職員等、総勢約80名が参加しました。昨年度までは、新型コロナの影響によりオンライン開催となっていたため4年ぶりの対面による開催となりました。各国からの留学生による母国紹介プレゼンテーションや、チームに分かれてのクイズ大会が行われ交流を深めました。

留学・海外体験フェア



2023年度はZOOMを使用したオンライン形式で留学海外体験フェアを開催しました。国際交流センターから留学の概要を説明し、その後は留学先の大学ごとにグループを分け、参加者が興味のあるグループに入る形式で行いました。参加者は実際に留学した学生から留学体験談・語学学習情報など貴重な話を聞くことができ、熱心に耳を傾け、質問をしたりしていました。

2023年度年間スケジュール

前 期		後 期	
4月		10月	愛知牧場へ行こう! (NCU GO!)
5月	ウェルカムパーティ (NCU GO!)	11月	
6月	留学生交流会 —Friendly Party 2023— 柳小学校訪問	12月	「せかいのことはでおはなし会」鶴舞中央図書館 汐路小学校訪問 西陵高校訪問
7月	留学フェア開催 西陵高校訪問 西特別支援学校訪問	1月	清水小学校訪問
8月		2月	
9月		3月	

名古屋市立大学 国際学会発表支援 【大学院生向け】

概要

趣旨・目的 大学院生が海外で開催される各種学会に参加し当該学会において発表を行う場合、その渡航費用(旅費)を支援する。またオンラインにより開催される国際学会で発表を行う場合の参加費を支援する。

対象

【国外参加】

国外で開催される学会に参加し、当該学会において発表を行う本学大学院生

【オンライン参加】

国外の機関が主催する学会にオンラインで参加し英語で発表を行う本学大学院生

支援内容

【国外参加】

航空費、鉄道費、宿泊料

- ① アジア地域(韓国、中国(香港を含む)、台湾、フィリピン、ベトナム、カンボジア、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア等):8万円
- ② ①以外の地域(ヨーロッパ・アフリカ・中南米地域、アメリカ、カナダ等):15万円

【オンライン参加】

下記支援上限金額内で、対象経費について支援する。(年度内1回限り)

- ・口頭発表 ￥30,000
- ・ポスター発表 ￥10,000

2024年度 申請受付日程

【国外参加】

	申請受付期間	旅行開始日
第1次	～ 令和6年3月8日(金)	令和6年 4月 1日(月)～
第2次	令和6年 5月 8日(水)～令和6年 5月31日(金)	令和6年 7月 1日(月)～
第3次	令和6年 8月 1日(木)～令和6年 8月30日(金)	令和6年10月 1日(火)～
第4次	令和6年11月 1日(金)～令和6年11月29日(金)	令和7年 1月 1日(水)～

【オンライン参加】

	申請受付期間	旅行開始日
第1次	令和6年 8月 1日(木)～令和6年 8月30日(金)	令和6年 4月 1日(月)～ 令和7年 3月31日(月)
第2次	令和7年 3月 3日(月)～令和7年 3月14日(金)	

実績 ※2020～2021年度はコロナウイルス感染症の影響により実績なし

研究科	2022年度/数	2023年度/数	主な学会開催地
医学研究科	4	15	アメリカ、イギリス、オーストリア、タイ、ハンガリー、オランダ、スペイン、韓国
薬学研究科	3	9	アメリカ、イタリア、イギリス、フィンランド、チェコ
経済学研究科			オーストラリア
人間文化研究科		2	アメリカ
芸術工学研究科	1	3	ドイツ、マレーシア、イギリス
看護学研究科		2	タイ
理学研究科		1	アメリカ
合計	8	32	

発表報告

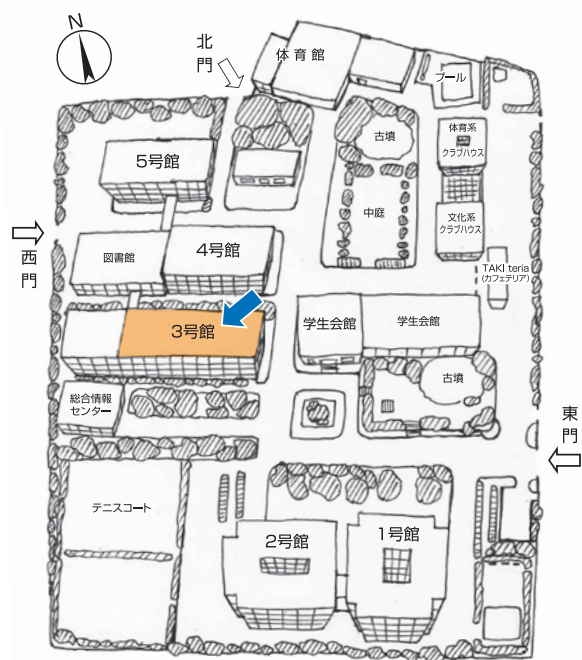
医学研究科博士課程 3年 藤本 真徳

学会名:アメリカ人類遺伝学会 開催地:アメリカ合衆国・ワシントン

アメリカのワシントンで開催されたアメリカ人類遺伝学会に参加しました。今回、私はAngelman症候群110例の臨床的特徴について発表しました。海外の方からも多くの質問をいただき、積極的な議論ができました。また、遺伝子診断・治療、研究において最新の知見を得ることができ、今後の臨床・研究に対して大変勉強になりました。このような機会を与えていただきました、名古屋市立大学国際学会発表支援事業に深く感謝いたします。



国際交流センターへのアクセス



場所: 滝子キャンパス 3号館1階
開館: 月曜日～金曜日 9:00～17:00
(休業期間も原則として開館します。祝日・年末年始を除く)

留学・奨学金/イベントの最新情報はコチラ!



発行: 公立大学法人 名古屋市立大学 国際交流センター

住所: 〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1 滝子(山の畑)キャンパス 3号館1階

電話: 052(872)5163 E-mail: ryugaku@sec.nagoya-cu.ac.jp